

# わどまり



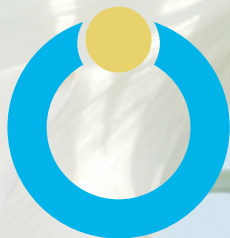
2015

町勢要覧

Wadomari Town Administrative Guide



活力と潤い、と魅力あふ  
わどまりへよう



### 町章 Town Emblem

明治100年記念として、昭和43年1月に制定されました。

「和泊」を「輪と鞠まり」におきかえ、輪は和・団結を、鞠は弾力・飛躍をあらわしています。

小円は、ユリのおしべの色から希望・歓喜をあらわし、大輪は海の色から悠々・信頼をあらわしています。



# れる花のまち こそ。



町花「えらぶゆり」



町木「ガジュマル」



## 発刊に寄せて

「町民が輝き、活力と潤いと魅力あふれる花のまち」を目指す和泊町は、花き園芸を中心に、生産性の高い農業に取り組んでいます。

また、「敬天愛人」の理念で培われた町民性は、人情味あふれる町としても知られています。

今後の町政運営にあたりましては、第五次和泊町総合振興計画に基づき、住んでいる人々が「住んでよかった」と思い、地域外の人々が「住んでみたい」と思える「自助、共助、公助で共生・協働のまちづくり」に努めてまいります。

この冊子が、本町の町政への御理解と、次世代を担う若者たちへの道しるべになれば幸いです。

平成 27 年 4 月

和泊町長 伊地知 実利

## CONTENTS

発刊によせて	1
町民憲章・町民4大運動	2
地勢・沿革	3
行政	4
議会	5
農業	6
水産業	7
商・工業	8
生活・環境	9
福祉	10
健康	11
教育	12
生涯学習・社会教育	13
歴史・文化	14
観光	15
イベント	16
主な施設	18
フラワー都市交流	19
和泊町のあゆみ	20
別冊	資料編



## 町民憲章

わが和泊町は、先人の残した輝かしい歴史とうるわしい伝統を持っています。

わたくしたちは和泊町民であることに誇りと自覚をもち、みんなで住みよい町をつくるため次のことを行います。

- 1 わたくしたち和泊町民は、よく働いて、豊かな町をつくります。
- 1 わたくしたち和泊町民は、きまりを守って、明るい町をつくります。
- 1 わたくしたち和泊町民は、心をあわせて、美しい町をつくります。
- 1 わたくしたち和泊町民は、心と身体をきたえ、健康な町をつくります。
- 1 わたくしたち和泊町民は、子供の幸福を守って、伸びゆく町をつくります。

(昭和43年1月制定)

## 町民4大運動

- 1 人づくり
- 2 土づくり
- 3 健康づくり
- 4 花づくり

一 白百合はわたしの心  
白百合はあなたの姿  
咲いて咲いて  
咲きひろがるう  
人の和の香りも高く

二 赤つちに夢ほり起こし  
この和泊に 世界の窓に  
くる潮に 幸追いながら  
伸びて伸びて  
伸びひろがるう  
人の和の根ざしも強く  
この和泊に 未来の園に

三 青空をかけゆく希望のぞみ  
青空をいろどる理想  
敬と愛の道をつらぬこう  
人の和のみのりは確か  
この和泊に われらの郷さとに

(昭和四十三年一月制定)

町民歌

作詞/山口 喜慶  
作曲/武田恵喜秀





## 地 勢

鹿児島市の南南西540km（航路距離）、北緯27度線上に浮かぶ面積93.69km<sup>2</sup> 周囲55.8kmの沖永良部島の東北部に位置し、平均気温22℃の亜熱帯気候に属します。知名町と隣接し、南は太平洋、北は東シナ海に面し、東北部に徳之島、南に与論島、沖縄を見ることができます。隆起さんご礁でおおわれた平坦な地形で、中央に古成層からなる越山（海拔188.6m）があるのみで耕地に恵まれています。産業は、温暖な気候を活かした農業が中心で、特に花き栽培が盛んな町として知られており、農業生産額においても県下で上位に位置しています。

## 沿 革

あまみゆ あじゆ なはゆ やまとゆ  
本町の歴史は、「奄美世」「按司世」「那覇世」「大和世」に区分されます。

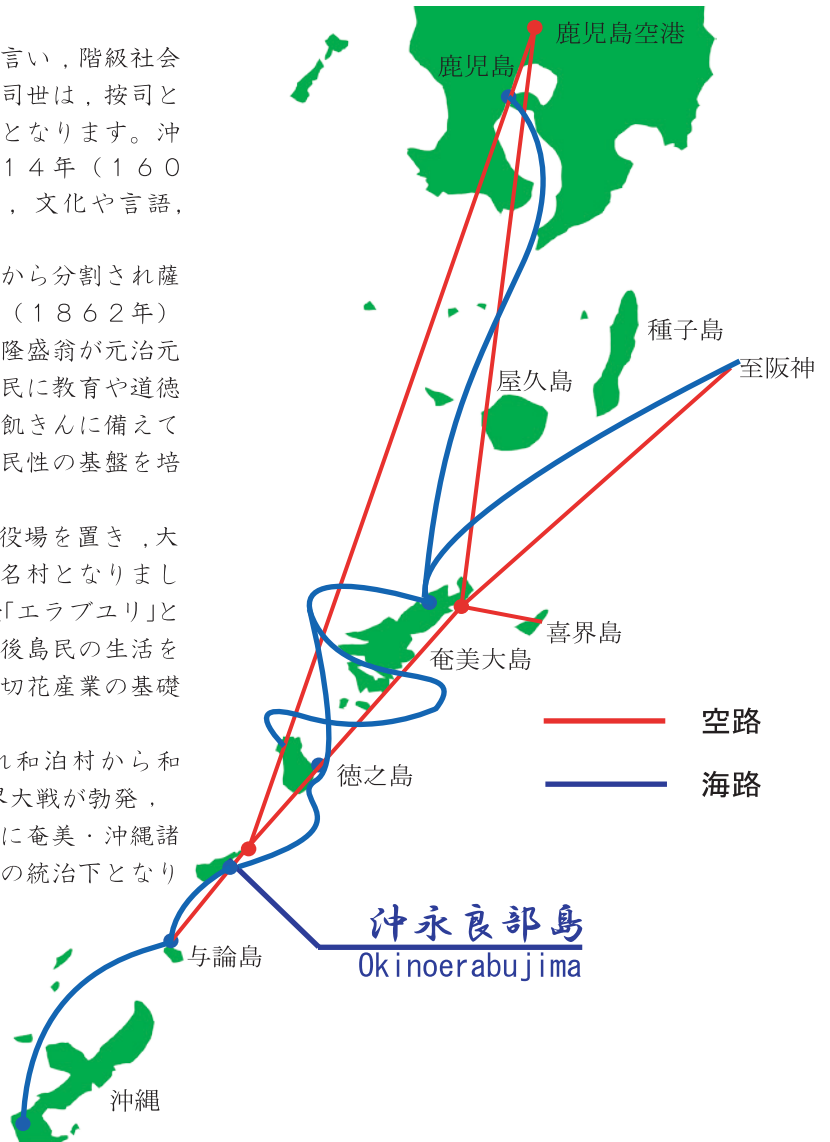
奄美世とは原始から8～9世紀頃までを言い、階級社会以前の集落共同体の時代でした。続いて按司世は、按司と呼ばれる首長たちの支配割拠する階級支配となります。沖永良部島はこの後、14世紀頃から慶長14年（1609年）までの間琉球王朝の支配下にあり、文化や言語、風俗などはこの那覇世に起因しています。

その後、薩摩藩の琉球侵攻の結果、琉球から分割され薩摩藩直下におかれました。一方、文久2年（1862年）島津久光公の怒りに触れ、流謫された西郷隆盛翁が元治元年に召還されるまでの1年6か月の間、島民に教育や道徳を、為政者には政治の要諦を教え、また、飢きんに備えての社会法を教えるなど、島利民福を図り町民性の基盤を培いました。

明治13年に全島を12に区分し、戸長役場を置き、大正9年には町村制が施行され、和泊村、知名村となりました。また、明治37年野生のユリの球根を「エラブユリ」として横浜の商社に送ったのが始まりで、以後島民の生活を潤す外貨獲得農産物として成長し、現在の切花産業の基礎を築いています。

昭和16年5月1日、町村制が施行され和泊村から和泊町になりました。同年12月第2次世界大戦が勃発、昭和20年8月終戦、翌21年の2月2日に奄美・沖縄諸島が日本から行政分離されアメリカ合衆国の統治下となりました。

昭和28年、祖国日本に復帰、翌年から特別措置法により、5年きざみで振興開発と振興策が講じられてきました。その間、交通・産業・福祉・教育などの基盤整備を行い、飛躍的な発展を遂げました。





## 活力と潤いのある 町づくりを目指します。

近年、少子高齢化，国際化，高度情報化の進展に伴い，高度化，複雑化する社会に対して行政が担う役割や責務も一層増大しています。

また今後，地方分権が進展し，行政に対する期待や需要がこれまで以上に多様化してきます。

行政としては，新たな時代の到来を認識し，更なる行財政の健全化を図り，限られた財源と人的資源を最大限に活用し，住民福祉，行政サービスの向上に努めてまいります。



町長  
伊地知 実利

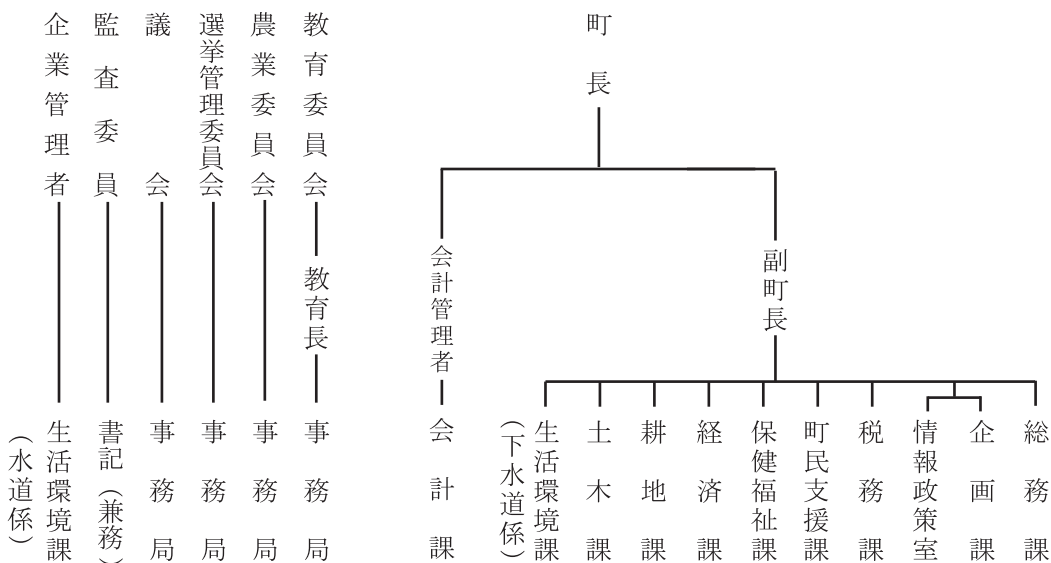


副町長  
前田 修一



教育長  
逆瀬川 勝久

### 行政組織図





町議会は町民の代表12名から構成され、執行機関（町長）から提出される町の予算や条例の制定など、多くの議案を審議・議決している最終的な意思決定機関です。

また、専門的な分野から審議する総務文教・経済建設の2つの常任委員会が置かれ、所轄事務に関する調査・研究を行い、請願や陳情などを審査しています。

町民の行政へのニーズが多様化してきた現在、議会の果たす役割はますます大きくなっています。



議 長  
和 正巳



副議長  
山下 幸秀

## 総務文教 委員会



委員長  
児玉 実隆



副委員長  
芋高 生三



和 正巳



伊集院 徳二



平 勝美



橋口 和夫

## 経済建設 委員会



委員長  
永野 利則



副委員長  
沖 充



山下 幸秀



泉 秀樹



桂 弘一



中田 隆洋

町民の声・考えを反映させます。



本町は農業を基幹産業とし、さとうきび・野菜・花き・肉用牛を組み合わせた複合経営を基本に、地力増強・経営の安定を図りながら持続性の高い農業を展開しております。

温暖な気候を生かした各作物の適正な作付体系を地域全体で確立し、安心・安全な農畜産物の安定供給にも取り組んでおります。

今後は、本町農業の持続的発展のため、地下ダムや畑地かんがい施設を利用した営農体系の確立を図るとともに農地の有効活用、新品目の導入及びICTを活用した生産基盤の充実を目指します。

さらに、認定農業者等担い手の確保・育成を推進するとともに地域農業者のゆとりある農業経営を支援し、共生・協働の農村社会実現に努めます。



ハーベスターによるさとうきびの刈取り



肉用牛

## ゆとりある農業経営と 共生・協働による農村社会の実現



平張施設



スプレー菊





切り花の収穫



サトウキビ



じゃがいもの掘り取り

# 水産業

## Fishery

水産業は、一本釣りを中心とした漁船漁業が主で、マグロやソデイカが漁獲量の大部分を占めています。

今後も、漁協と協力し漁場環境の保全と水産資源の管理を行いながら、消費者が求める水産物の安定的な生産・供給に努めるとともに、観光漁業と水産資源の造成・増産を推進し、漁業経営の安定向上を図ります。



港まつり



海人まつりの鮮魚販売



セリ市





# 商・工業

## Commerce/Industry

本町の商業は、小売業を中心とした個人商店が多く、各店舗が連携をとりながら、生活に溶け込んだ、心の交流のある買い物を楽しめる商店街づくりを図っています。

近年、人口の減少や経済不況により購買力の低下が懸念される中、商店数は減少しているものの販売額は増加傾向にあります。

今後も消費者ニーズの多様化・高度化に対応し、個性のある店舗づくりや魅力ある商店街づくりに取り組んでいきます。

工業については、焼酎工場や製糖工場などの食品製造業が主で技術革新や新製品の開発を促進するとともに、観光産業とも連携した新たな地場産業の育成を図っていきます。



商店街



スーパー店内



黒糖焼酎工場

## 魅力ある 地場産業づくり



製糖工場



# 生活・環境 Life/Environment

本町では、町民が健康で文化的な生活を営み、豊かな心を育むために、快適で住みやすいまちづくりを進めています。

水道事業では、平成 22 年度に硬度低減化施設を整備し、水質検査管理を徹底し、安全でおいしい水の安定供給に努めています。

また、下水道事業では、公共下水道や農業集落排水、浄化槽の設置促進を行い、水環境の保全に努めています。ごみ処理については、ごみの分別や不法投棄防止、減量推進等を啓発し、循環型社会の構築に努めていきます。



後蘭浄水場

## 安心・安全・快適で 住みやすいまちづくり



公営住宅



沖永良部クリーンセンター



下水道処理施設



児童福祉では、合計特殊出生率の全国市町村ランキングにおいて本町は、平成5～9年に全国1位、平成15～19年同4位と上位に入り、その要因として南国特有の温暖な気候や地域ぐるみの家庭的雰囲気、農業を中心とした経済的基盤の安定、さらにこども園等の整備が考えられております。

しかし、近年では生活様式や就労形態等が多様化、また核家族化や女性の社会参加が促進され育児力の低下が深刻化しており、より一層子育てのしやすい地域の環境づくりを図る必要があります。

高齢者福祉については、高齢者の生きがいと社会参加を促進するとともに、社会的孤立の解消及び自立支援を図るためにシルバー人材センターや長寿クラブの活動支援、高齢者パワートレーニング教室などの介護予防事業を総合的に実施しています。また、高齢者が住み慣れた地域で、安心して継続的に暮らせるよう介護保険の充実に努めています。

障害者福祉については、障害者が地域の人々と共に生活し、活動する社会を目指す「ノーマライゼーション」の理念の定着を図り、障害福祉の大きな目標である「障害のある人が、住み慣れた地域で必要なサービスを受けられるまち～福祉教室の充実と自立支援の実現～」を基本理念に、各種政策の推進に努めて参ります。

障害のある人に対する理解を深めることにより、すべての人々の心の壁を取り除き、町民一人ひとりが障害のある人を取りまく問題を認識し、共に解決に向けて主体的に行動していける社会を目指します。

子ども・高齢者・障害者が  
安心して暮らせるまちづくり



ほっとステーション



高齢者パワートレーニング

# 健康

# Health

本町では、生活習慣病の予防や健康づくりを推進するにあたり、21世紀における町民の健康づくりの指針「健康わどまり21」計画を策定しました。

「健康わどまり21」に基づいた総合的な健康づくりの推進と併せ、総合型地域スポーツクラブ“元気！わどまりクラブ”等と連携し、健康増進と疾病予防（1次予防）に努めています。

温暖な海洋性気候や海に囲まれた自然を生かした健康寿命の延伸のための健康づくりの場の創出、健康と癒しの島づくりを目指すために、タラソおきのえらぶ施設の活用と地域の特性を生かしたタラソテラピーによる心身ともに健康なまちづくりを目指します。

その他、各種健診の受診率向上に努め、生活習慣病・その他疾病の早期発見・早期治療体制や保健センターの有効活用による母子保健・成人保健等の充実を図っていきます。



タラソおきのえらぶ



各字ラジオ体操



歯科検診





汐干し学習



郷土芸能（せんする節）

学校教育では、「生きる力」につながる学力向上を最重点課題として取組を進めています。教育効果をさらに高めるための学校間連携を強化するとともに、教育施設や情報機器等の整備による学校環境の充実を図ります。

「郷土で育てる肝心」の教育をはじめとする、時代を超えて変わらない価値あるものを大切にする心の教育や、たくましく生きるための健康や体力をはぐくむ教育を進めます。土曜授業の学びの場の拡充を「知・徳・体」バランスのとれた児童生徒の育成につなげます。

また、幼児教育については、少子高齢化の進む社会情勢の中、一人ひとりの子どもが健やかに成長できるよう、就学前の教育のより一層の充実を図ります。

食育については、平成26年4月に最新の厨房設備を備えた新学校給食センターが稼働し、地場産食材を活用した安心・安全で栄養バランスのとれた美味しい学校給食が提供され、児童生徒の心身の発達が図られています。



学校給食センター



社会科見学

# 生涯学習

## Lifelong learning

生涯学習は、町民一人ひとりが生涯にわたって、自ら学び実践することが基本です。主体的な学習意欲を育てるために、各種講座や教室を開き、全ての町民が生きがいを持ち、ゆとりと潤いのある豊かな人生が送れるよう、いつでもどこでも学ぶことができる社会教育施設や学校施設の効率的運営に努めています。



花育週間（押し花教室）



夏休み親子教室

# 社会体育

## Social Physical Education

健康で明るい生活を送ることへの関心はますます高まっており、本町では「総合型地域スポーツクラブ（元気！わどまりクラブ）」を中心に、「スポーツをする・観る・支える」といった様々な町民のニーズに適切に応えられる環境づくりに努めています。



各字対抗で競われる町民体育大会



チャレンジデー 2014（スポーツゴミ拾い）



元気！わどまりクラブ主催わらんちゃスポーツクラブ



# 歴史・文化

# History/Culture

先史時代以来、沖永良部島は本土と琉球とをつなぐ「道の島」として、南北からさまざまな文化の波を受け入れてきました。町内には、縄文時代から幕末期にかけての遺跡・史跡などがあります。

今から約600年前、沖永良部島は琉球北山王の影響下にあったとされ、当時島は「永良部世之主」により治められていたといわれています。

近世に入り薩摩藩のもとでは、流罪となった西郷隆盛が1年6か月間牢居し、「敬天愛人」の思想に至る過程で、島の若者達にも影響を与え、地元を支える優れた人材が生まれました。

また、本土と琉球との交流やその地理的環境下におかれた本島には、独特の自然環境・風習・伝統芸能が発達しました。



牢中の西郷隆盛座像



国頭小学校のガジュマル



世之主の墓



沖永良部島のヤッコ踊り

## ■文化財指定一覧（平成24年4月現在）

### 国指定文化財

種別	名称	所在地	所有者等
天然記念物	オカヤドカリ	南西諸島	所在市町村
〃	カラスバト	鹿児島県	〃

### 県指定文化財

種別	名称	所在地	所有者等
史跡	世之主の墓	内城	和泊町
無形民俗	沖永良部島のヤッコ踊り	和泊町及び知名町	沖永良部島ヤッコ踊り保存会

### 町指定文化財

種別	名称	所在地	所有者等
絵画	南州翁肖像	西原	個人所蔵
〃	狩野常信	和泊	〃
工芸品	世得堂	〃	〃
〃	柱掛（2対）	〃	〃
書跡	川口雪篷の掛け軸	西原	〃
〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃
〃	西郷南州の掛け軸（2対）	和泊	〃
〃	〃	喜美留	〃
古文書	世之主かなし由緒書	和泊	〃
〃	在與中日記	上手々知名	〃
〃	詰役系圖在番所	根折	〃
〃	島役人の辞令書等	和泊	〃
有形民俗文化財	ノロの遺品	畦布	〃
〃	〃	国頭	〃
〃	西郷南州遺品	〃	〃
〃	提げ重一式	根折	〃
〃	厨子甕	根折	和泊町

種別	名称	所在地	所有者等
無形民俗文化財	遊び踊り	手々知名	手々知名保存会
〃	獅子舞	畦布	畦布保存会
〃	せんする節	〃	〃
〃	忍び踊り	国頭	国頭伝承舞保存会
〃	竿打ち踊（五尺踊）	〃	国頭芸能保存会
〃	収納米踊り（シウトマイ）	永嶺	永嶺保存会
〃	やっこ	国頭	国頭芸能保存会
〃	仲里節	玉城	玉城芸能保存会
史跡	世之主の城跡	内城	和泊町
〃	後蘭孫八の城跡	後蘭	個人所有
〃	畦布北海岸の古墳1~4号	畦布	個人所有
天然記念物	国頭小学校の榕樹	国頭	国頭小学校
景勝地	瀬名半崎黒瀬付近一帯	瀬名	
〃	喜美留笠石一帯	喜美留	
〃	国頭的美瀬の浜一帯	国頭	
〃	瀬名半崎黒瀬付近一帯	瀬名	
〃	喜美留笠石一帯	喜美留	
〃	国頭フーチャ	国頭	



# 観光

# Sightseeing

平成 27 年 4 月 1 日に一般社団法人おきのえらぶ島観光協会を設立し、観光特産品の P R を強化しております。

4 月の海開きに始まり、港まつり、農業祭、花の島沖えらぶジョギング大会など、各種イベントには島内外から多くの方が参加しており、増加傾向にあります。

平成 29 年度には、「奄美・琉球世界自然遺産登録」を目指しており、観光客並びに、入域者数の増加が期待されております。

今後、選ばれる観光地として全国に P R し、各種メディア、旅行エージェント、クルーズ船の誘致等による観光客、特産品販売額の増加を図るために、おきのえらぶ島観光協会を主体とした、観光窓口の一元化、旅行者のニーズに対応するための魅力づくり、体制づくり、人材づくりが求められております。

各団体が交流・連携しながら地域の魅力を磨き、沖永良部島の自然・農業・伝統文化など島の資源を活かした観光体験メニューの創出を推進し、自然環境保護に努めながら、沖永良部島らしい特色ある観光振興を図ります。



学生インターンシップ受入事業  
(島キャン)

## 観光地づくりは地域づくりから



一般社団法人おきのえらぶ島観光協会設立



海開き



ブルーツーリズム (追込み漁) 体験メニュー開発



海人まつり



# イベント

## おきの 花の島沖えらぶ ジョギング大会



- ・ 3 km
- ・ 5 km
- ・ ハーフマラソン
- ・ ハーフリレー (6名 1チーム) の4コース



## フラワーフェスティバル (花の島沖えらぶジョギング大会後夜祭)



6名の観光大使が沖永良部島をPRします

## 港まつり



「サマーナイトフェスタ」



伝統の「舟こぎ競争」



相撲競技の様子



多くの人々で賑う港まつり前夜祭 市中パレード



## 町民体育大会



町民体育大会では、SSTVで実況生中継され、お茶の間でも楽しむことができます。



競技の様子

## 文化と福祉の祭典



舞台発表



## 農業祭



会場の様子



記念公演

# 主な施設

和泊町防災拠点施設  
やすらぎ館



奄美群島体験交流推進施設  
えらぶ長浜館



和泊町商工会館



サンサンテレビ



町立図書館



中央公民館



タラソおきのえらぶ



歴史民俗資料館



研修センター



社会福祉センター



実験農場



西郷南洲記念館





# フラワー 都市交流

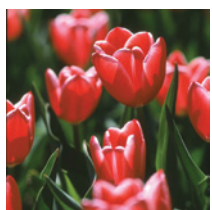
## 花で結ぼう虹のかけ橋



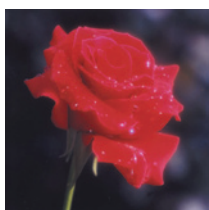
1 中富良野町 [ラベンダー]



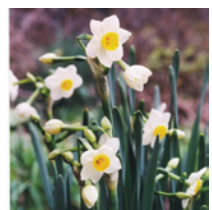
2 長井市 [あやめ]



3 砺波市 [チューリップ]



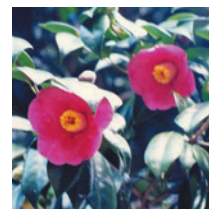
4 大野町 [ばら]



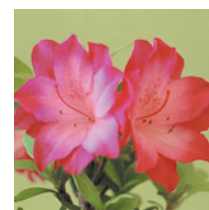
5 下田市 [すいせん]



6 宝塚市 [すみれ]



7 萩市 [つばき]



8 久留米市 [つつじ]



9 和泊町 [ゆり]



### Flower Communication

#### 文化の振興と魅力あるまちづくり

全国で初めての「フラワー都市交流連絡協議会」は昭和58年4月発足いたしました。現在、6市3町が花を通じて相互交流を深め魅力あるまちづくりとイメージアップを図っています。

# 慶長14年～昭和63年

※写真解説

- ① まち全景
- ② バス運行開始 (S31)
- ③ 国頭小学校新・旧校舎 (S32)
- ④ 常陸宮様御来島 (S48)
- ⑤ クインコーラル初接岸 (S49)
- ⑥ ドニエル機 (S58)



慶長 14年 (1609年) 琉球服属から薩摩の直轄となる。

寛永 11年 (1634年) 初めて人口を調査する。

元禄 3年 (1690年) 代官所がおかれる。

文化・文政の頃 (1800年の初め) 甘藷苗を徳之島より移入され押植製法伝習。

安政 5年 (1858年) 伊延港が築造された。

文久 2年 (1862年) 西郷隆盛、流謫され、伊延港に上陸。

元治 元年 (1864年) 西郷隆盛、胡蝶丸で鹿児島に召還。

慶応 元年 (1865年) 和泊村西宜美老井を掘る。

明治 2年 (1869年) 吾館シンカに新井を掘る。

明治 3年 (1870年) 代官所が在番所に改称された。

明治 4年 (1871年) 社倉が設立された。

明治 6年 (1873年) 廃藩置県が行われたが、大島は藩政のまま持ち越される。

明治 8年 (1875年) 貨幣融通開始。

明治 10年 (1877年) 在番所を廃止して、名瀬に鹿児島県大島支庁を置き、本島に支庁が置かれた。

明治 11年 (1878年) 和泊にはじめて和泊小学校(郷校)が置かれた。

明治 12年 (1879年) 苗字使用、商店開始。

明治 16年 (1883年) 大島警視出張所沖永良部島派出所設置。

明治 19年 (1886年) 全島に小学校を設置。

明治 24年 (1891年) トール墓(風葬)を埋葬に改める。

明治 25年 (1892年) 和泊郵便局創設。

明治 28年 (1895年) 郡制施行で奄美群島を以って大島郡となる。

明治 37年 (1904年) 社倉資金で和泊に病院ができる。

明治 39年 (1906年) 和泊戸長役場に和泊登記所が置かれた。

明治 41年 (1908年) 大島各島定期航路開始。

大正 2年 (1913年) 甘蔗「読谷山種」このころより普及。

大正 9年 (1920年) 和泊港開さく工事が始められた。

大正 13年 (1924年) 和泊に大島区裁判所がおかれ、登記事務を扱う。

大正 15年 (1926年) 野生のユリ球根を「えらぶゆり」と銘打って初めて横浜に送る。

昭和 4年 (1928年) 「えらぶゆり」のほ場栽培が始まった。

昭和 6年 (1931年) 島しょ町村制が施行され、和泊村と知名村に区分された。

昭和 7年 (1932年) 初代和泊村長に土持綱安氏就任。6年制義務教育実施。

昭和 10年 (1935年) 与和港開さく工事。

昭和 16年 (1941年) 町村制施行、村会議員が選挙され議員によって村長が選出された。

昭和 18年 (1943年) 和泊港に新橋完成。

昭和 20年 (1945年) 内喜名港開さく工事。

昭和 21年 (1946年) 大島警察署沖永良部分署が沖永良部警察署に昇格。

昭和 23年 (1948年) 沖永良部電気株式会社(発電所古里)が点燈を開始。

昭和 24年 (1949年) ユリ根生産過剰、乱売防止のため100万余球を海中に投棄。

昭和 25年 (1950年) ユリ騒動起こる。

昭和 28年 (1953年) 和泊村、知名村に青年学校が設立された。

昭和 29年 (1954年) 町制を施行、山下兼道氏初代町長になる。

昭和 30年 (1955年) 第二次世界大戦勃発。

昭和 31年 (1956年) 第二次世界大戦終結。

昭和 32年 (1957年) 鹿児島県から分離、米軍政府下におかれる。

昭和 33年 (1958年) 鹿兒島県から分離、米軍政府下におかれる。

昭和 34年 (1959年) 六・三制の学制が実施され、国民学校が小学校に、中学校は和泊一中、二中、三中が創立された。

昭和 35年 (1960年) 沖永良部高等学校設置。

昭和 36年 (1961年) 臨時北部南西諸島政庁の沖永良部福祉駐在員が置かれた。

昭和 37年 (1962年) 奄美群島政府設立。

昭和 38年 (1963年) グレス声明により日本復帰。

昭和 39年 (1964年) 沖永良部高等学校が県立となる。

昭和 40年 (1965年) 第三代町長に重村中久氏就任。

昭和 41年 (1966年) 食料事務所と税関出張所が設置された。

昭和 42年 (1967年) 奄美群島復興特別措置法公布。

昭和 30年 (1955年) 4月 和泊港修築工事始まる。

5月 名瀬工事事務所沖永良部土木工事詰所設置。

昭和 31年 (1956年) 4月 鹿兒島入国管理事務所、和泊に駐在員を置く。

5月 「沖永良部郷土資料」発行。

昭和 32年 (1957年) 4月 沖永良部バス運行開始。

昭和 33年 (1958年) 2月 和泊一中、三中が統合して和泊中学校に、二中が城ヶ丘中学校となる。

昭和 34年 (1958年) 7月 第四代和泊町長に武田恵喜光氏就任。

昭和 35年 (1960年) 7月 和泊小学校、奥川(現在地)に移転。

9月 役場、石川平(現在地・和泊小学校跡)に移転。

昭和 36年 (1961年) 4月 簡易水道、畦布揚水施設工事着工。

7月 国民健康保険事業始まる。

8月 町内全校生徒完全給食実施。

昭和 37年 (1962年) 1月 搬出制国民年金事業開始。

2月 義宮様ご来島。

8月 第1回港まつり。

昭和 38年 (1963年) 1月 簡易水道給水開始、給水戸数457戸。

2月 町長に武田恵喜光氏再選。

8月 奄美開発(株)共和産商(株)合併して、南栄糖業(株)設立。

昭和 39年 (1964年) 3月 第1回ゆり祭り。

4月 昼間送電開始。

7月 大かんばつで、農作物の被害と飲料水枯渇。

昭和 40年 (1965年) 3月 知名町に東洋一の昇竜洞発見、一般公開。

6月 和泊市街地の護岸工事完成。

7月 伝染病棟(298㎡)が建設された。

昭和 41年 (1966年) 2月 奄美大島群島振興特別措置法公布。

3月 貨物船あけぼの丸610トン初接岸。

4月 和泊中学校に屋内運動場完成。

7月 電気24時間送電(従来深夜4時間停電)。

昭和 42年 (1967年) 2月 NHKテレビ塔完成。

3月 町長に武田恵喜光氏三選。

7月 瀬名一仁志間町道改良工事竣工。

10月 和泊町中央公民館落成。

11月 沖永良部空港着工。

昭和 43年 (1968年) 1月 古里、伊延、護岸工事竣工。

3月 和泊町議会議事堂完成。

4月 老人家庭奉仕員制度発足。

7月 大島軸織工教習所開設。

昭和 44年 (1969年) 1月 明治100年事業として町章、町民歌、町民憲章制定。

3月 国の合同庁舎竣工。

4月 住民基本台帳法が施行。

7月 定期郵便物の航空輸送開始。

9月 奄美群島振興特別措置法改定延長。

昭和 45年 (1970年) 1月 県営畑地帯総合整備事業和泊地区(区画整理、客土、農道整備)着工。

2月 沖永良部空港開港。

4月 大阪航空局沖永良部空港出張所設置。

7月 沖永良部測候所設置。

9月 沖永良部畜産センター完成。

12月 和泊町奨学資金貸付制度発足。

昭和 46年 (1971年) 1月 町長に武田恵喜光氏四選。

3月 和泊町総合振興計画策定。

4月 「沖永良部観光と物産展」鹿児島市、山形屋デパートにて開催。

7月 和泊港に1,500トン級船舶(あまみ丸)初接岸。

9月 町全域に水道敷設完成。

12月 城ヶ丘中学校プール完成。

昭和 47年 (1972年) 1月 ミカンコミバエ防除事業(じまる)。

3月 農村地域集団電話開通。

4月 過疎地域振興計画策定。

9月 和泊港後背地埋立工事着工。

12月 町単独老年金制度創設。

昭和 48年 (1973年) 3月 国頭字にへき地保健福祉館完成。

4月 空港-知名間県営舗装工事完成。

7月 給食センター完成。

9月 農業振興地域の指定を受ける。

12月 県営畑地帯総合整備事業仁志地区(客土、農道整備)着工。

昭和 49年 (1974年) 1月 大島地区総合社会教育研究会が開催された。

2月 「老人いこの家」完成。

3月 和泊港後背地埋立工事竣工。

4月 大城小学校屋内運動場完成。

5月 国頭小学校に「汐ほす母の像」完成。

7月 県営水田転換特別対策事業後蘭地区(客土、整地工)着工。

8月 常陸宮殿下同妃殿下御来島。

10月 きび価格大幅引上げ総決起大会。

11月 第1回老人クラブ運動会。

12月 沖永良部島電報電話局開局、ダイヤル式通話開始。

昭和 50年 (1975年) 1月 3,000トン級船舶「ひかり」和泊港に初接岸。

2月 県合同庁舎が手々知名に竣工。

3月 県営畑地帯総合整備事業和泊地区(区画整理、畑かん、客土、農道整備)着工。





3



4



5



6

昭和 49 年 2 月 (1974 年) 町長に武田恵喜光氏が五選。第1回フリージア全国キャラバン。  
 4 月 5,000トン級船舶「神戸丸」和泊港に初接岸。県営畑地帯総合整備事業国頭地区(客土,農道整備)着工。  
 5 月 第18回奄美群島市町村議会議員大会。鹿児島銀行沖永良部支店強盗事件。  
 8 月 6,000トン級船舶「クインコーラル」和泊港に初接岸。  
 9 月 内城小学校体育館完成。  
 10 月 陸上自衛隊による道路新設工事竣工。(和・根折線)徳永運輸大臣一行和泊港等視察。  
 昭和 50 年 3 月 (1975 年) 県営畑地帯総合整備事業和泊地区(区画整理,客土,農道整備)完了。和泊保育所開設。  
 4 月 7,000トン級船舶「クインコーラル2」初就航。  
 6 月 第17回奄美群島福祉大会。第29回県民体育大会第16回大島地区大会。金丸知事との語る会。玉城生活館完成。  
 昭和 51 年 2 月 (1976 年) 農業後継者育成大会。フリージア娘NHKスタジオ102に出演。  
 6 月 和泊港港湾・空港拡張整備促進期成会発足。  
 8 月 町民体育館着工。(17日)  
 9 月 越山焼却炉着工。(24日)  
 11 月 和泊港待合所完成。  
 12 月 沖永良部空港に自衛隊ジェット機初着陸。和泊町民体育館完成。  
 昭和 52 年 3 月 (1977 年) 東京フルハーモニー吹奏楽団公演。特別養護老人ホーム(しらゆりの園)完成。ユニチカ女子バレー団来町親善試合を行う。全沖縄高等学校ボクシングチーム来島。沖永良部高校と親善試合。  
 9 月 沖永良部台風襲来し全島に壊滅的な被害を及ぼす。(最低気圧 907.3mb)  
 11 月 第1回和泊町文化祭。  
 12 月 西郷南洲没百周年記念行事行う。畦布生活館完成。  
 昭和 53 年 2 月 (1978 年) 町長に武田恵喜光氏六選。県営水田転換特別対策事業後蘭地区(客土,整地工)完了。  
 3 月 柔剣道場落成。県警音楽隊演奏会。伊延集会所落成。  
 5 月 西郷南洲像建立。(南洲神社境内)復帰25周年記念式典越山公園開き。大島地区駅伝大会開催。谷山生活館完成。  
 昭和 54 年 3 月 (1979 年) 仁志生活改善センター完成。民放テレビ開局。県営畑地帯総合整備事業仁志地区(客土,農道整備)完了。伊延港改修工事着工。  
 4 月 沖縄空港開設。  
 8 月 「防災の日」制定。  
 9 月 第1回町民歩こう会が行われる。  
 10 月 古里生活館落成。  
 12 月 第1回総合学習発表会。  
 昭和 55 年 3 月 (1980 年) 町立図書館落成,国頭保育所落成,永嶺,後蘭コミュニティセンター落成。  
 4 月 県営農免農道整備半崎地区(農道整備)着工。  
 5 月 町制施行40周年記念式典,農村情報無線開局,町花「てっぽうゆり」町木「ガジュマル」指定。「教育の町」、「交通安全の町」宣言,ミカンゴミバエ解禁。「自然環境保全条例」制定。新農業構造改善事業多目的研修館着工。  
 7 月 過疎地域振興計画(55年~59年度)策定。  
 10 月 第二次和泊町総合振興計画策定。水道創設20周年記念式典。戦没者慰霊塔建立。(越山頂上)  
 12 月 有機物供給センター完成。沖永良部花きセンター完成。  
 昭和 56 年 3 月 (1981 年) 第1回「フリージアフェスティバル」開催。鎌田知事との「車座対話」。農村総合整備事業(市町村型)和泊地区着工。  
 4 月 第1回「'81 沖えらぶ島サマーナイトフェスティバル」開催。  
 7 月 5,000トン級船舶「あかつき」初就航。第35回県民体育大会第22回大島地区大会開催。第1回大島地区肉用牛共進会開催。初の土用夜市開催。  
 8 月 第1回身障者母子福祉スポーツ大会開催。  
 10 月 町長に武田恵喜光氏七選。高千穂神社で奄美群島地区植樹祭開催。NHKニュースワイド初の全国生中継,ひるぷろ録画。第1回「フリージアジョギング大会」開催。和泊保育所増築落成。(定員150名)県営畑地帯総合整備事業国頭地区(客土,農道整備)完了。「水資源対策協議会」「行政改革研究委員会」「研修センター運営審議会」設置。  
 4 月 第9回県少年スポーツ大会大島地区大会開催。大島地区輸送野菜生産推進大会。

昭和 57 年 10 月 (1982 年) 11 月 ウリバエ不妊虫,初の空中放飼。5,000トン級船舶「ニューグインコーラル」初就航。和泊町研修センター竣工。  
 12 月 沖永良部与論地区消防組合発足。久保陽子リサイタル。  
 昭和 58 年 2 月 (1983 年) 4 月 大城保育所開設(定員50人) - 全校区に認可保育所が完成 - フラワー都市交流連絡協議会発足。県営畑地帯総合整備事業苅岩地区(区画整理,畑かん)着工。松くい虫,初の航空防除。5 月 農村集落多目的共同利用施設落成。8 月 初のウィルスフリーゆり球根10万球導入。10 月 沖永良部与論地区消防組合業務開始。奄美 - 沖永良部YS-11に代わり,19人乗小型機(ドニエル)就航。  
 12 月 内喜名漁港,第1種漁港に指定。奄美群島振興開発特別措置法延長。水産物荷役施設完成。  
 昭和 59 年 2 月 (1984 年) 4 月 神戸沖洲会,初のふるさとツアーで里帰り(150余名)。沖永良部警察署,和泊へーパルの新庁舎に移転。第1回サマー・コンサート。6 月 第1回社会教育研究大会。7 月 伊延港に,大型船舶「エメラルドあまみ」が初接岸。10 月 県営畑地帯総合整備事業仁嶺地区(区画整理,畑かん,客土,農道整備)着工。西郷隆盛翁の謫居牢屋復元。11 月 第30回奄美地区総合社会教育研究会開催。12 月 町誌(民俗編)発刊。第10回大島地区芸術祭開催。  
 昭和 60 年 4 月 (1985 年) 電々公社,NTT(民間)への移行。ボーラ化粧品,エラブゆり取材と香水開発に着手。フラワー都市交流物産展(神戸大丸店)と青年交流会。水道課,テレメーターシステム導入。5 月 和泊町土づくり運動推進協議会発足。6 月 町誌(歴史編)発刊。和泊町行財政改革推進本部設置。7 月 役場に電算システム導入。尼崎沖洲会,ふるさとツアー(53名)来島。和泊町長選挙及び和泊町議会議員補欠選挙。8 月 第五代町長に,泉貞吉氏就任。若妻会結成(128名)。茶道裏千家,1985九州交流の船(800名)来島。9 月 第1回民謡コンクールが開かれる。10 月 和泊町青少年育成町民会議が設立される。都市計画事業に伴う奥川敷(15,000㎡)埋立工事着工。11 月 小さな新設運動交流会。和泊町振興研究協議会(シンクタンク)発足。大島地区社会教育方法改善研究集合開催。第1回壮年団町内一周駅伝大会開催。  
 昭和 61 年 1 月 (1986 年) 武田恵喜光前町長に名誉町民(第1号)称号を贈る。2 月 人づくり運動推進協議会開催。鹿児島沖洲会ふるさとツアーで里帰り(47名) 3 月 ツアア陛下御在位60周年記念植樹(デイゴ,つつじ,官公庁事務所,各字公民館に) 5 月 青少年芸術劇場離島へき地公演。7 月 鹿児島短期大学沖永良部演奏会行う。「幼児の心をはぐむ」世代間交流学習会開催。大城小学校プール完成。8 月 5年ぶりの大干ばつでさとうきび被害甚大,消防車等で散水。9 月 第1回15万人グリーンアイランド大作戦。12 月 県営畑地帯総合整備事業第二仁嶺地区(区画整理,畑かん)着工。支庁長と語る会開催される。  
 昭和 62 年 2 月 (1987 年) 2 月 NHK日本列島朝いちばん外2番組全国生中継。3 月 県営農免農道整備半崎地区(農道整備)完了。保健婦制度設置。保健婦採用。一人一木など全町的な植樹運動展開。4 月 アメリカからゆり視察団来島。ウミエバエ航空防除,不妊虫の本格放飼始まる。5 月 知事車座ミニ対話が行われる。(第2回)。6 月 尼崎市民沖永良部友好訪問団来町。7 月 西郷隆盛の謫居の地,牢屋に座像建立。えらぶ南洲太鼓初披露。内城小プール完成。9 月 西郷南洲顕彰会組織再編。(430余名) 10 月 南西航空,沖縄路線利用減により運休。第6回大島地区肉用牛振興大会。第4回サンライフ運動大島地区推進大会。山口誓子句碑建立。沖永良部球根バイオ研究所研究棟完成。(谷山)石川平埋立地完成。白ゆり橋完成。  
 昭和 63 年 3 月 (1988 年) 5 月 全国一斉ウォークラリー大会。6 月 岡山沖洲会ふるさとツアーで里帰り(23名) 7 月 社会教育推進員設置。(30名) 鹿児島 - 沖永良部線がJASからJACに委譲される。名誉町民,武田恵喜光氏の寿像完成。子ども創作活動行われる。



# 昭和63年～平成26年

※写真解説

- ① 第五代町長 泉貞吉氏 (S60)
- ② YS-11機 (S63)
- ③ 町制施行50周年記念 (H4)
- ④ 城ヶ丘中学校竣工 (H8)
- ⑤ 体験交流施設「えらぶ長浜館」完成 (H18)
- ⑥ 歴史観光交流館「西郷南洲記念館」完成 (H23)

1



2



昭和 63年8月 農業後継者大会開かれる。  
 (1988年) 10月 和泊町結婚相談員協議会発足。  
 11月 サンライフ運動10周年記念植樹(高千穂神社)。  
 国保制度発足50周年記念「和泊町健康まつり」  
 開催される。  
 県営畑地帯総合整備事業第三仁嶺地区(区画整理,畑かん)着工。  
 平成 元年1月 小型ハーベスタ導入。  
 4月 フラワー都市交流総会開催。  
 7月 沖永良部球根バイオ研究所にロボット導入。  
 町長に泉貞吉氏再選。  
 8月 ウィーン五重奏団公演。  
 町広報映画「小さな島の大きな光」完成。  
 結婚相談員制度発足。  
 10月 大島地区交通安全対策推進ブロック会議開催。  
 11月 全奄美六調踊り大会開催。  
 ウリミバエ根絶される。  
 12月 第1回和泊町子ども会大会開催。  
 平成 2年3月 和泊小学校体育館完成。  
 和泊町福祉センター完成。  
 4月 和泊町鹿児島事務所開設。  
 6月 役場第2・第4土曜日閉庁始まる。  
 7月 花き振興課新設。  
 8月 和泊町実験農場開所。  
 10月 国勢調査。  
 11月 農協花き部と花き園芸組合を一本化し「沖永良部  
 花き流通センター」を設立。  
 12月 県管かんがい排水事業仁嶺地区(畑かん)着工。  
 平成 3年4月 県営畑地帯総合整備事業長島地区(区画整理,畑かん,農道整備)着工。  
 5月 町制施行50周年記念式典。  
 「わどまり音頭」発表。  
 「花のまち」宣言。  
 合同金婚式。  
 土持政照翁、操担勁翁胸像建立。  
 7月 奄美群島社会福祉大会開催。  
 第45回県民体育大会第32回大島地区大会。  
 8月 国際少年サマーフェスティバル「えらぶ」。  
 鹿児島県離島青年会議所開催。  
 老人保健施設沖永良部受恵苑落成。  
 12月 和泊町シルバー人材センター発足。  
 50周年記念モニュメント、越山に建立。  
 全国土を守る運動会議表彰。  
 和泊町花づくり推進協議会発足。  
 平成 4年2月 奄美群島切花品評会。  
 3月 身体障害者福祉作業所開所。  
 平成3年度「活力のあるまちづくり」自治体表彰を  
 受賞。  
 4月 屋内ゲートボール場「すぱーく和泊」完成。  
 和泊町防災センター(消防拠点施設)完成。  
 NHKのど自慢和泊町大会(ゲスト前川清,大月みや子)  
 ゆりフェスタ'92 沖永良部(シンポジウム,世界の  
 ゆり,170種展示)  
 離島初の「NHKイブニングネットワーク鹿児島」の実況  
 放送。(笠石海浜公園)  
 7月 本島初の「青年海外協力隊員」として1名スリランカ  
 へ(玉城宇 島田慶子さん)  
 8月 第16回大島地区スポーツ少年団競技別交歓大会。  
 「和泊町福祉健康まつり」開催。  
 和泊町議会議員選挙。  
 10月 豊かなむらづくり全国表彰で国頭字が「天皇杯」受賞。  
 文化講演会でヨッドによる「単独無寄港世界一周」の  
 今給黎教子さん講演。  
 11月 第18回奄美群島農業祭。  
 12月 西村金蔵教育長就任。  
 平成 5年3月 和泊中学校体育館完成。  
 「笠石シンボルタワー」(地上高18m)完成。  
 4月 役場完全週休二日制実施。  
 燃える鹿児島交流93 in 沖永良部。  
 6月 和泊町商工会館落成。  
 和泊小学校に「花時計」完成。  
 町長に泉貞吉氏三選。  
 7月 県営畑地帯総合整備事業第二長島地区(区画整理,畑かん)着工。  
 8月 全日本九人制バレーボールクラブカップ男子選手権  
 大会で「和泊クラブ」が県代表で出場。  
 9月 第1回和泊町生涯学習推進大会。  
 10月 和泊町農畜産物集出荷貯蔵施設落成。  
 (九州初の花の自動市場仕向機設置)  
 11月 「定住促進奨励金」を初交付。  
 第1回海人まつり。  
 奄美群島日本復帰40周年記念奄美県体「男子  
 バレーボール」が本町で開催される。  
 平成 6年2月 奄美初の「福祉リサイクルセンター」オープン。  
 第1回世界へはばた(みんなの集い)を開催。  
 (海外研修合同報告会)  
 3月 デイサービスセンター 在宅介護支援センター開所。  
 伊延港に「導灯」完成。  
 「地域環境保全型農業の推進に関する条例」制定。

平成 6年5月 「花の島沖えらぶ」レーザーディスク発売。  
 全国わんぱく相撲奄美場所が本町で開催。  
 「'94全国ゆりシンポジウムIN和泊」。  
 6月 学校給食の牛乳を「LL」から「UHT」へ切り替える。  
 7月 TBS系列「金曜テレビの星」のお見合い大作戦ロケ  
 が行われる。(79名の女性が来島)  
 第1回さび祭開催。  
 8月 第1回和泊町島ムニ大会。  
 12月 第1回島内小学生相撲大会。(大城小)  
 平成 7年1月 阪神・淡路大震災(M7.2 震度7)で5,000人以上  
 が死亡。(本町出身者26人)  
 4月 学校週5日制が,第2第4土曜日の月2回完全実施。  
 「花恋慕全国カラオケ大会」で若杉久美子さん(東  
 京代表)がフラワー総理大臣に決定。  
 県営畑地帯総合整備事業上原地区(畑かん,農道整  
 備,サンゴ礁排除)着工。  
 6月 相撲道場「和心館」完成。  
 沖永良部バレイショ「春のささやき」がかごしまブランド  
 に指定される。  
 「緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰(県内  
 自治体初)」  
 8月 和泊中男子バレー部九州大会で準優勝。全国大会  
 初出場。  
 戦後50周年記念事業の一環として越山の戦跡整備  
 を行う。  
 10月 JAC 奄美全路線がドニエル機(19人乗り)からスウェ  
 ーデン製のサーブ340B機(36人乗り)へ。  
 空港ターミナルビル増築。(ロビーが1.5倍の広さに)  
 平成 8年2月 バレイショ「春のささやき」が,ブランド指定後初出荷。  
 3月 太平洋戦争民間人殉難之碑建立。  
 農業構造改善優良地区として「農林大臣賞」受賞。  
 初の国際交流推進員としてジョンハール氏着任。  
 城ヶ丘中学校新校舎完成。  
 農村総合整備事業(市町村型)和泊地区完了。  
 4月 県内自治体初の有線テレビ(サンサテレビ)開局。  
 5月 「花恋慕」カラオケ全国沖洲大会。  
 名誉町民武田恵喜光前町長逝去。  
 6月 種子島移住100周年記念墓参団来町。  
 7月 名誉町民故武田恵喜光氏の町民葬。  
 郡消防操法大会ポンプ車の部で優勝。  
 8月 白百合土地改良区第1回通常総代会開催。  
 町総合褒賞授与式。  
 城ヶ丘中学校相撲部初の全国大会出場(九州大会  
 準優勝)。  
 町議会議員選挙。(定数2名減の18名となる)  
 9月 町立図書館入館者25万人を達成。  
 各学校にデジタルビデオカメラを貸与。  
 10月 中国東莞市望牛墩鎮へ日中友好調査団を派遣。  
 和泊町長寿会が南大島地区老人スポーツ大会で3  
 連覇達成。  
 11月 大島地区障害者ゲートボール大会。  
 12月 県営畑地帯総合整備事業坊や田地区(畑かん,農道整備)着工。  
 平成 9年1月 第1回世之主火祭り開催。  
 3月 国頭小学校新校舎落成。  
 国際ワークキャンプ「えらぶ'97」の開催。  
 4月 フラワー都市交流連絡協議会総会。  
 和泊町歴史民俗資料館開館。  
 初代国際交流員として周 紀軍氏着任。  
 えらぶ堆肥センター落成。漁協製氷施設完成。  
 県営水環境整備事業当田地区(保全施設)着工。  
 6月 町長に泉貞吉氏四選。  
 8月 中華人民共和国広東省東莞市望牛墩鎮友好交流  
 調印。  
 平成 10年2月 臨時福祉給付金の支給。  
 4月 沖永良部グリーンセンター稼働。  
 えらぶゆり100年祭。「ゆり百年」歌製作。  
 5月 農村総合整備事業(市町村型)白百合地区着工。  
 沖永良部家畜市場落成。  
 フラワーコンサート「JAZZin 花の島98」。  
 6月 沖永良部-沖縄間セスナ就航(沖縄ツーリスト)  
 和泊町民楽団結成。(団員55名)  
 県営畑地帯総合整備事業第二坊や田地区(畑かん,農道整備)着工。  
 7月 指定金融機関業務開始(和泊町農業協同組合)  
 8月 日本フルハーモニー交響楽団演奏会。  
 9月 内城小学校新校舎落成。  
 県営畑地帯総合整備事業池当地区(畑かん,農道整備)着工。  
 11月 東莞市民俗歌舞団公演。  
 「ソールド・おきなわ」開催。  
 12月 和泊郵便局落成。(移転)  
 和泊町商品券発行。(12年度まで)  
 地域振興券の発行。  
 平成 11年2月 沖永良部言論地区広域事務組合設立。  
 6月 えらぶゆり100年祭記念誌発行。  
 8月 第1回綱引大会。  
 9月 かごしま事務所閉鎖。





平成 12 年 1月 保健センターの落成。  
2月 公共下水道一部共用開始。  
マツクイムシ被害終息宣言。  
3月 豪華客船「ふじ丸」(23,340トン) 接岸。  
ふれあい交流施設(笠石ドーム) 完成。  
新エネルギービジョン策定。  
4月 第4次和泊町総合振興計画の策定。  
和泊新港岸壁供用開始。  
鹿児島県沖永良部事務所業務開始。  
北部浄化センター通水式。  
11月 和泊中学校落成。  
平成 13 年 1月 市町村合併研究会の設立。  
4月 和泊町ホームページの開設。  
5月 町制施行 60 周年記念式典。  
栄誉町民に末川寅吉・町田定美・島田俊秀3氏。  
第45回奄美群島市町村議会議員大会開催。  
町長に泉貞吉氏五選。  
9月 県管畑地帯総合整備事業玉城地区(土層改良,暗渠排水)着工。  
日・中・韓文化交流。  
平成 14 年 3月 県管水環境整備事業当田地区(保全施設)完了。  
7月 県管畑地帯総合整備事業根折東地区(区画整理)着工。  
平成 15 年 3月 県管畑地帯総合整備事業長島地区(区画整理,畑かん,農道整備)完了。  
11月 天皇皇后両陛下をお迎えして, 名瀬市(現奄美市)で奄美群島日本復帰 50 周年記念式典開催。  
12月 県管畑地帯総合整備事業和地区(区画整理,畑かん,客土,農道整備)完了。  
平成 16 年 3月 県管畑地帯総合整備事業玉城地区(土層改良,暗渠排水)完了。  
4月 県管畑地帯総合整備事業根折南地区(区画整理)着工。  
8月 県管畑地帯総合整備事業第二坊ヤ田地区(畑かん,農道整備)完了。  
11月 県管畑地帯総合整備事業根折西地区(区画整理)着工。  
県管畑地帯総合整備事業池当地区(畑かん,農道整備)完了。  
平成 17 年 4月 「タラソおきのえらぶ」開設。  
県管畑地帯総合整備事業出花地区(畑かん,農道整備,サンゴ礁排除)着工。  
県管畑地帯総合整備事業第二畦布地区(区画整理)着工。  
県管中山間地域総合整備事業沖永良部地区(区画整理,農道整備,農業用排水施設)着工。  
7月 第六代和泊町長に, 伊地知実利氏就任。  
8月 県管畑地帯総合整備事業畦布地区(区画整理)着工。  
平成 18 年 11月 名誉町民に泉貞吉前町長。  
4月 県管畑地帯総合整備事業伊美地区(区画整理)着工。  
9月 「タラソおきのえらぶ」でクリーンエネルギーである風力発電設備の稼働。  
10月 奄美群島体験交流施設「えらぶ長浜館」落成。  
11月 泉貞吉前町長, 県民表彰受賞。  
平成 19 年 3月 県管畑地帯総合整備事業仁嶺地区(区画整理,畑かん,客土,農道整備)完了。  
県管かんがい排水事業仁嶺地区(畑かん)完了。  
農村総合整備事業(市町村型)百合合地区完了。  
4月 県管畑地帯総合整備事業第三畦布地区(区画整理)着工。  
6月 沖永良部バス企業団, 小型バス運行開始。  
7月 戸籍総合システム稼働。  
9月 国管沖永良部農業水利事業所が開所。  
「和泊西郷南洲顕彰会設立 30 周年記念」として, 稲盛和夫氏記念講演。  
10月 第19回和泊町総合褒賞授与式。  
12月 「地域再生計画書」の認定を受ける。  
平成 20 年 2月 和泊町農業青年クラブ農林水産大臣賞受賞。  
3月 県管畑地帯総合整備事業第三仁嶺地区(区画整理,畑かん)完了。  
暴力団等排除協定調印式。  
4月 フラワー都市交流総会・交流会が本町にて開催。  
7月 新造船「あけぼの」(8,083トン) 初寄港。  
和泊町議会議員選挙。(定数 14 名)  
8月 「サマーアドベンチャー in おきのえらぶ島 & 沖繩」で, 神戸より47名の児童が来島。  
9月 第1回郷土伝承芸能大会開催。  
12月 旭日単光章伝達式(出花字 木之下健雄氏)  
新造船「クイーンコーラルプラス」(6,000トン) 初就航。  
平成 21 年 1月 和泊町 PTA 活動研究大会において宮崎緑さん講演。  
3月 旭日雙光章伝達式(国頭字 末川寅吉氏)  
旭日単光章伝達式(畦布字 西 亘俊氏)  
県管畑地帯総合整備事業第二長島地区(区画整理,畑かん)完了。  
県管畑地帯総合整備事業坊ヤ田地区(畑かん,農道整備)完了。  
県管畑地帯総合整備事業根折東地区(区画整理)完了。

平成 21 年 4月 県管畑地帯総合整備事業朝知野地区(区画整理)着工。  
5月 裁判員制度施行。  
7月 和泊町長に伊地知実利氏再選。  
9月 脇田清一郎副町長退任, 房村正博氏が副町長に就任。  
旭日単光章伝達式(西原字 東一徹氏)  
11月 鹿児島県立沖永良部高等学校 60 周年記念式典。  
12月 第20回天皇陛下御即位 20 年奉祝記念和泊町総合褒賞授与式開催。  
平成 22 年 3月 県管畑地帯総合整備事業第二仁嶺地区(区画整理,畑かん)完了。  
県管畑地帯総合整備事業根折西地区(区画整理)完了。  
4月 県管畑地帯総合整備事業白瀬地区(区画整理)着工。  
「子ども手当」支給開始。  
5月 瑞宝双光章伝達式。(皆川字 皆村英治氏)  
瑞門公園完成祝賀会(ワシジ祭)開催。  
「松の前池」(谷山字)が農水省の「ため池 100 選」に選定。  
7月 第50回和泊町港まつり。(7月25日, 31日, 8月1日)  
10月 女子レスリング世界チャンピオン吉田沙保里選手と栄和人監督(笠利町出身)が来島し, 講演会開催。  
「全国離島推進員連絡協議会」沖永良部視察研修。  
12月 旭日単光章伝達式(永嶺字 宮永謙二氏)  
平成 23 年 2月 フラワー都市交流少年交流事業で町内5年生7名中富良野町を訪問。  
東京ユニバーサルフィルハーモニー管弦楽団巡回公演。  
3月 東日本大震災発生(3.11)  
県管畑地帯総合整備事業岩島地区(区画整理,畑かん)完了。  
県管畑地帯総合整備事業根折南地区(区画整理)完了。  
県管畑地帯総合整備事業畦布地区(区画整理)完了。  
4月 県管畑地帯総合整備事業外保地区(区画整理)着工。  
5月 前町長泉貞吉翁頌徳碑建立。  
6月 尼崎沖洲会創立 60 周年記念大会(尼崎アルカイクホール)  
7月 沖永良部島観光連盟調印式。  
歴史観光交流館「西郷南洲記念館」落成式。  
9月 旭日雙光章伝達式。(手々知名字 伊勢達一氏)  
11月 町制施行 70 周年記念式典・祝賀会開催。  
第22回日本ウミガメ会議(議城字 大里章幸氏)  
旭日雙光章伝達式。  
平成 24 年 1月 鹿児島地方務局沖永良部出張所廃止。  
2月 小型動力ポンプ付軽消防自動車寄贈式。  
3月 県管畑地帯総合整備事業出花地区(畑かん,農道整備,サンゴ礁排除)完了。  
県管中山間地域総合整備事業沖永良部地区(区画整理,農道整備,農業用排水施設)完了。  
4月 県管畑地帯総合整備事業根折地区(区画整理,畑かん,農道整備)着工。  
5月 房村正博副町長退任, 池田利夫氏が副町長に就任。  
第4回奄美群島民生委員児童委員大会開催。  
「平成24年度子どもの読書活動優秀実践校」として内城小学校が文部科学大臣賞受賞。  
6月 第40回県消防協会大島支部消防操法大会で小型ポンプの部で和泊町が優勝。  
7月 和泊中学校が「平成24年度安全功労者内閣総理大臣表彰」受賞。  
8月 豪華客船「にっぽん丸」が伊延港に寄港。  
9月 台風15, 16, 17号襲来により多大な被害を受ける。  
和泊町議会議員選挙。(定数 12 名)  
新造船フェリー一波之上就航。  
10月 行政相談委員総務大臣賞受賞(喜坂三千春氏)  
11月 第12回全国沖洲会連絡協議会が知名町で開催。  
平成24年度第50回農業祭・第29回奄美群島農業祭が本町で開催。  
県管畑地帯総合整備事業第四畦布地区(区画整理)着工。  
平成 25 年 2月 沖永良部空港ビル搭乗待合室完成。  
3月 県管畑地帯総合整備事業第二畦布地区(区画整理)完了。  
県管畑地帯総合整備事業伊美地区(区画整理)完了。  
県管畑地帯総合整備事業第三畦布地区(区画整理)完了。  
5月 沖永良部島観光案内所オープン。  
7月 町長に伊地知実利氏三選。  
10月 沖永良部大千はつ・雨乞い祈願祭  
11月 叙位伝達式(故 末川 寅吉氏)  
奄美群島日本復帰 60 周年記念式典  
平成 26 年 3月 旭日単光章受賞(故 朝戸 貞造氏)  
新和泊町立学校給食センター完成  
4月 池田利夫副町長退任, 前田修一氏が副町長に就任。  
5月 瑞寶雙光章受賞(川間 元生氏)  
7月 奄美群島航空運賃軽減事業開始。  
9月 新沖永良部火葬場落成  
旭日単光章受賞(故名越 文雄氏)  
11月 逆瀬川勝久教育長四期目就任。  
奄美ナンバー交付開始。



# 観光マップ



田皆岬



ソテツジャングル



ワンジョビーチ



フォーチャ



観光道路  
沖永良部空港



日本一のガジュマル



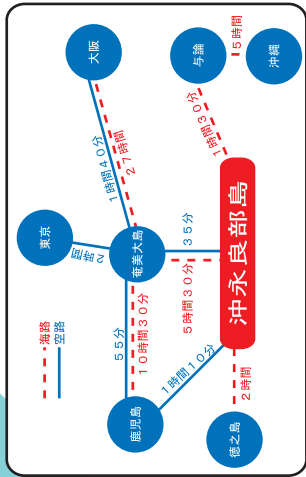
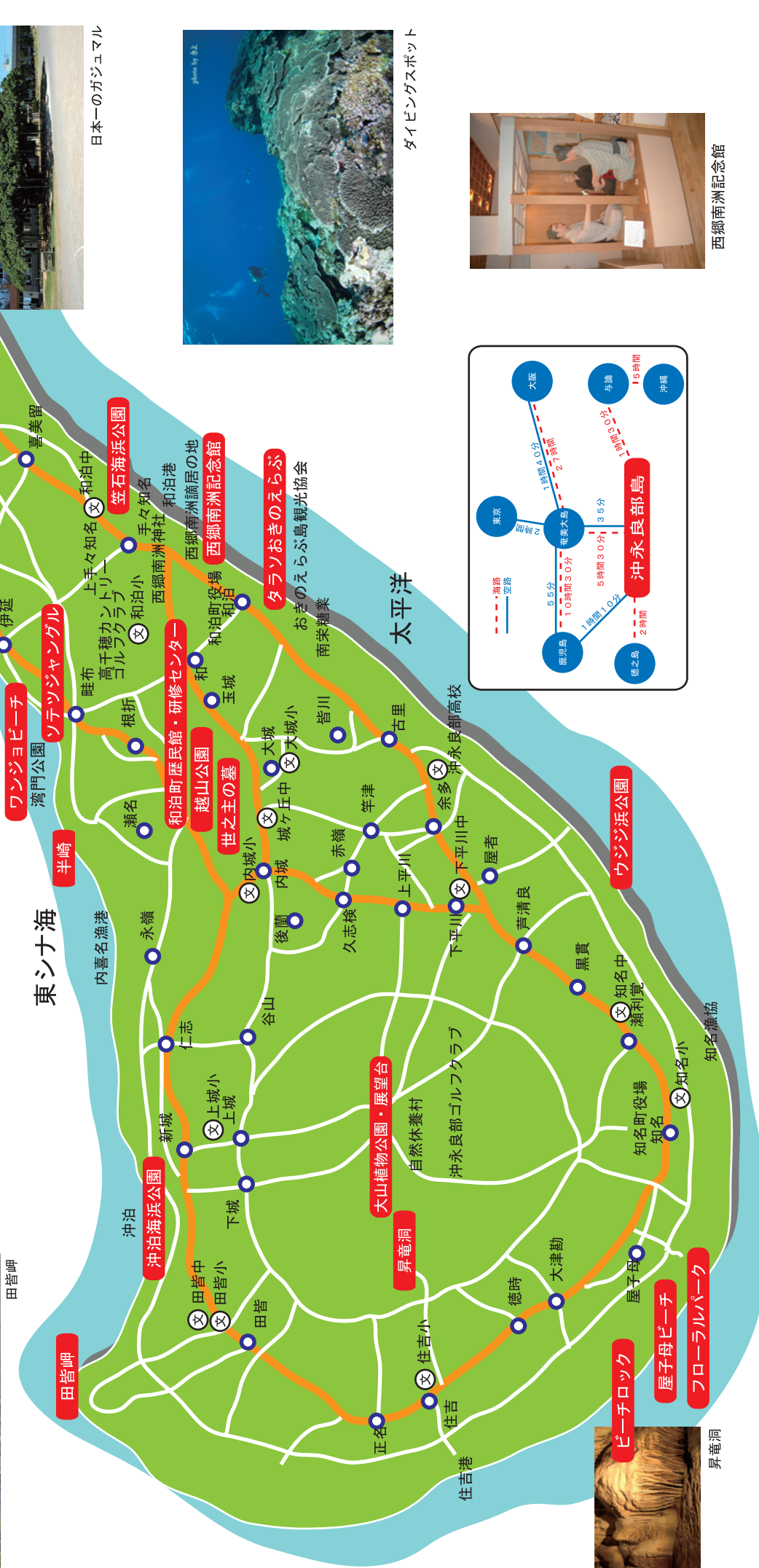
ダイビングスポット



西郷南洲記念館

## 東シナ海

## 太平洋



昇竜洞

### ビーチロック

### 屋子母ビーチ

### フローラルパーク

### 昇竜洞

### 大山植物公園・展望台

### ウジジ浜公園

### タラノオきのえらぶ

### 西郷南洲記念館

### ソテツジャングル

### ワンジョビーチ

### 日本一のガジュマル

### フォーチャ





